学校番号	T3015

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ１」（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・楽器を奏でること、曲を歌うこと、音楽を聴くことを通して、音楽の色々な面を体験します。

・楽譜の持っている意味を読み取り、それぞれの音楽の持っている良さを味わって演奏すること、そして皆さんが音楽を少しでも深く知ることが出来れば、と考えています。

2　学習の到達目標

音楽を受け身に感じるのではなく自分自身の力で音楽を表現すること､それが普通のことと感じられるように自らの力量に応じた種々の音楽に慣れ親しむ｡そうすることによって､今までとは違った音楽へのアプローチ、感じ方を自分で体験し、感じ取る。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音楽を受け身に感じるのではなく楽譜や既存の演奏などから実感を伴った知識を感じ取り、歌唱、器楽、創作の技能を身に付ける。	対象とする音楽の情報を、楽譜や既存の演奏などから感じ取り、それを演奏する際に、必要事項を判断し、全体像を捉え、どのように音と表現しようとしているか。	教材となる作品を知っている、知らないの如何に関わらず、その作品へ積極的に取り組もうとし、自らの力量に応じて作品にアプローチを行い、慣れ親しみ、今までとは違った音楽への感じ方を自分で体験し、感じ取る。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	どこかで耳にした親しみのある曲を歌う	[歌うこと] ・ありがとう ・見げてごらん夜の星を	a: 曲の特徴はどの様なことで、何処なのか。それらを踏まえ、感じながら声に出すことが出来ている。 b: 表現したいことが歌の形として表れている。 c: 先ずは自主的に歌うことに取り組んでいる。	観察 演奏の聴取 ワークシート	実技テスト 観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取
	リズムアンサンブル	[器楽演奏] ・クラッピングとボディーパーカッション	a: 自分の体の一部を使い、自分でリズムを感じ、音の変化を直感的に感じ取る事ができる。 b: リズムの特徴や変化を感じ、その表現にはどのような身体的工夫が必要かを感じている。 c: 個々人の演奏、そして他者との演奏、それらの違いを踏まえながら演奏出来ている。	観察 演奏の聴取	実技テスト 観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取
	音楽とダンス	[鑑賞] ・ボレロ(ラヴェル)＋バレエ ・春の祭典(ストラヴィンスキー)＋バレエ	a: リズムの特徴とそれぞれの楽器の音色を分別する事ができる。 b: これらの曲について自らが感じた事を文章としてできる。 c: 各作品の成り立ちや歴史的背景について興味を持とうとしている。	ワークシート	ワークシート	鑑賞態度
後期	より親しみ曲を歌う	[歌うこと] ・少年時代 ・翼をください ・Oh Happy Day	a: 曲の特徴はどの様なことで、何処なのか。それらを踏まえ、感じながら声に出すことが出来ている。 b: 表現したいことが歌の形として表れている。 c: 先ずは自主的に歌うことに取り組んでいる。	観察 演奏の聴取 ワークシート	実技テスト 観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取

	楽器で演奏する	[器楽演奏] ・見げてごらん夜の星を (今回はグロッケンを用いて) ・木星 ・さくら	a: 楽器を使い、音を変化させ自分でリズムを感じ、音の変化を感じ取る事ができる。 b: リズムの特徴や変化を感じ、その表現にはどのような演奏の工夫が必要かを判断し実行する事ができる。 c: 個々人の演奏、そして他者との演奏、それらの違いを踏まえながら演奏出来ている。	観察 演奏の聴取	実技テスト 観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取
	観て、聴いて愉しむ音楽	[鑑賞] ・オペラ～ミュージカル (時代の流れに沿って代表曲を鑑賞し、それらの特徴を捉える)	a: 時代にの変化に合わせた楽曲の特徴を分別する事ができる。 b: これらの曲について自らが感じた事を文章として表現できる。 c: 各作品の成り立ちや歴史的背景について興味を持とうとしている。	ワークシート	ワークシート	鑑賞態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度